

会 議 録

1 会議名

令和5年度第7回吉川区地域協議会

2 会長挨拶

3 議題（公開・非公開の別）

・報告事項（公開）

（1）会長報告

（2）委員報告

（3）事務局報告

・協議事項（公開）

（1）自主的審議事項について

（2）地域協議会活動報告会・公募説明会について

・総合事務所からの諸連絡について（公開）

・その他（公開）

4 開催日時

令和5年11月20日（月）午後4時30分から午後6時28分まで

5 開催場所

吉川コミュニティプラザ 3階 大会議室

6 傍聴人の数

1人

7 非公開の理由

なし

8 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：五十嵐豊、薄波和夫、江村奈緒美、大滝健彦、関澤義男、高野幸夫、橋爪正平、平山浩子、山岸晃一

・事務局：吉川区総合事務所

風間所長、平山次長、山本市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、平原総務・地域振興グループ班長、霜鳥総務・地域振興グループ主任

柿崎区総合事務所 五十嵐産業グループ長

9 発言の内容（要旨）

【平山次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・委員 9 人の出席を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：橋爪委員

【山岸会長】

- ・挨拶

【平山次長】

- ・議長の選出について、上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により山岸会長から議長を務めていただく。

【山岸会長】

- ・次第 3 報告事項(1)会長報告であるが、10 月 29 日に米沢の上杉神社の大乗寺家との交流を行った。令和 6 年地域独自予算で宮司夫妻をお招きし、令和 4 年の地域活動支援事業で行った「吉川区と上杉家のつながり」大乗寺遺産保存・伝承・振興事業の継続事業としたい。民間で動ける範囲として、我々が表敬訪問して「ぜひ来年来ていただきたい」ことを伝え、快く理解いただいた。今回の事業では、小中学生を中心に講演を予定しているの、学校と宮司の日程を確認しているところ。隔年交流をして、7 年後の謙信公生誕 500 年には市のイベントに加えていただきたいと思う。もしできるのであれば、市長への表敬訪問も考えたい。
- ・続いて(2)委員報告をお願いします。

【薄波副会長】

- ・11 月 11 日午後で開催された「上越市住民自治を進める会発足 20 周年」の記念講演会とシンポジウムの報告をする。前半は令和 4 年度に頸北地区地域協議会委員合同研修で講演いただいた福島大学教授の講演会、後半はその教授、中郷区地域協議会会長、高田区地域協議会会長、NPO 法人牧振興会理事長、大潟区地域協議会会長とのシンポジウムであった。意見交換の中で地域協議会の位置付けの検証、地域独自予算の課題などが話し合われた。

【山岸会長】

- ・続いて(3)事務局報告をお願いします。

【五十嵐産業グループ長】

(資料 1「令和 4 年度の吉川ゆったりの郷における市及び指定管理者の収支状況等について」に基づき説明)

【山岸会長】

- ・シニアパスポートの補助額はどこに反映しているか。

【五十嵐産業グループ長】

- ・後程回答する。

【薄波副会長】

- ・エネルギー価格高騰補填金がなければ赤字経営か。

【五十嵐産業グループ長】

- ・エネルギー価格高騰補填金は電気料金だけである。単純に赤字とは思っていない。

【薄波副会長】

- ・廃止となった酵素風呂があったスペースは現在どのような状況か。

【五十嵐産業グループ長】

- ・ネクストリゾート上越の事務所として使用している。

【薄波副会長】

- ・諮問時には予定がないという話であったが、事務所となったのか。

【五十嵐産業グループ長】

- ・今現在、事務所として使用している。

【山岸会長】

- ・質疑等なければ、次の案件の説明をお願いします。

【五十嵐産業グループ長】

(資料 2「令和 4 年度の吉川スカイトピア遊ランドにおける市及び指定管理者の収支状況等について」に基づき説明)

【山岸会長】

- ・高齢者利用が多ければシニアパスポートの補助額は増える。この算入方法が分からなければ、1人当たりの公費投入額をどう理解すればよいか分からない。次回、教えていただきたい。

【五十嵐産業グループ長】

- ・次回、回答する。

【山岸会長】

- ・ 質疑等なければ、次の案件の説明をお願いします。

【五十嵐産業グループ長】

(資料3「吉川ゆっつりの郷の利用料金の改定について」に基づき説明)

【山岸会長】

- ・ シニアパスポートは半額補助のままか。

【五十嵐産業グループ長】

- ・ シニアパスポートは半額補助のままである。

【山岸会長】

- ・ 委員から他に質疑等がなければ、私からお聞きしたいことがある。
- ・ 道の駅の活性化委員会を年内に開催するのか、また、道の駅のモニターテレビと看板を予算化する予定かどうか。観光協会も尾神の映像をモニターに映したいため地域独自予算事業で計画したいということを知っている。市は、区内の観光情報、市内の観光情報、更に尾神の映像をどのように情報を発信するのか、内容を絞ってしまうのかお聞きしたい。

【五十嵐産業グループ長】

- ・ 道の駅活性化検討委員会の進め方を文化観光部長と協議した。遅くとも1月には開催したいと考えている。参加者の合意形成を図るため、来年度も継続して開催する予定である。
- ・ モニターの設置は、市が行うべき事業として認識しており、柿崎区でモニターの設置、看板類の修繕を予算要求している。内容の詳細は詰まっていないが、予算のヒアリングを経て議会に上程された上で発表となるので、現段階ではお答えできない。

【山岸会長】

- ・ 令和5年度の地域独自予算事業で、実施主体が市になっている事業があった。地域政策課長からは「前からやっている事業にかかっているから」という回答があった。継続する事業と連携・関連、あるいは拡張するものであればと考え、大乘寺の歴史伝承事業の中で計画する部分ではあったが、市の施設なので市の予算で実施するというお話があったので大いに期待している。同じ方法で事業提案しているのに片方は市の事業となり、片方は何も確定できない。結局、市の算盤の中で先送りされるのであれば非常に不公平が生まれる。我々の希望が叶う形で今後もお願いしたい。
- ・ 次の案件の説明をお願いします。

【平原班長】

(資料4「答申・上越市立吉川地区公民館東田中分館、泉谷分館、勝穂分館の廃止に対する通知について」に基づき説明)

【山岸会長】

・質疑等はあるか。

【薄波副会長】

・公民館活動は、この回答に沿って前向きな取り組みをお願いしたいと思う。

【山岸会長】

・質疑等なければ、次の案件の説明をお願いします。

【平原班長】

(資料5「地域活性化の方向性について(八千浦区、保倉区)」に基づき説明)

【薄波副会長】

・先日の住民自治を進める会で24区で地域活性化の方向性を完成させたと聞いた。残りは3区か。

【平原班長】

・残りは4区であったかと思う。

【薄波副会長】

・高田区は今年度一杯かかると聞いた。

【山岸会長】

・質疑等なければ、次の案件の説明をお願いします。

【霜鳥主任】

・公共交通懇話会について、報告する。11月7日、吉川コミュニティプラザ大会議室で吉川区内の公共交通について話し合う「公共交通懇話会」を開催した。小・中学校PTA代表をはじめ、保育園の保護者会、高等支援学校校長、頸北観光バスなど12人の委員が集まり、当協議会でも説明した「第2次上越市総合公共交通計画の後期計画案」について協議いただいた。計画の最終年度である令和9年度を目途に、現行の路線バスを予約型コミュニティバスに転換するが、土曜日・休日の運行方法や定時便の導入など今後の研究・検討課題はあるものの、計画案について概ねご了解いただいた。

【山岸会長】

・質疑等なければ、次の案件の説明をお願いします。

【平原班長】

- ・東京吉川会総会について報告する。11月12日、東京上野御徒町で東京吉川会総会と懇親会が行われた。東京、東京近隣在住の吉川に縁りのある会員約50名と、当市・吉川からは、副市長、市議、地域協議会長、町内会長連絡協議会長、まちづくり吉川会長など12名ほどが出席し、親交を深めた。会では新規会員、若い方の参入を切望しているため、吉川から東京に移られた方に東京吉川会の存在を知らせていただきたい。

【山岸会長】

- ・吉川会会長、前会長とその弟に、令和6年度に地域独自予算を使って米沢市との交流を行うのでお越しく下さいと伝えた。長峰城の活動をあまり知らなかったので、来年の酒まつりや米沢の交流事業に来ていただいて、故郷に来ていただく機会を増やしていただきたいと思った。

【薄波副会長】

- ・今回の吉川区からの参加者は12名で会場の関係で人数も制限されたようだが、今回参加されなかった方も参加していただきたいと思った。

【山岸会長】

- ・質疑等なければ、次の案件の説明をお願いします。

【平原班長】

- ・新潟県原子力防災訓練について報告する。10月27日から29日、国の原子力総合防災訓練と一体となる形で、新潟県原子力防災訓練が行われた。UPZ内住民の避難訓練もこれまでより規模が拡大され、上越方面と魚沼・湯沢方面の2方面での実施となった。29日に上越市で行われた住民一時移転訓練では、柿崎区柿崎地区、吉川区旭地区、大島区旭地区、大潟区2町内会の133人、柏崎市住民108人が参加した。

一時集合場所となる指定避難所8箇所、スクリーニングポイントとなる直江津港南ふ頭緑地公園、避難所となるユートピアくびき希望館、三和地区公民館・保健センターで、バスや自家用車による避難の実施、安定ヨウ素剤の緊急配布、スクリーニング・簡易除染訓練を行った。現在、訓練に参加した市民や職員のアンケートを回収中で、アンケート結果から課題などを検証し、今後の訓練や原子力防災の啓発活動にいかしていく予定である。

【山岸会長】

- ・住民が乗車したバスがパンクし代車が来るまで大変時間がかかったと聞く。実災害時にはどうなるか心配なところはあるが、仕方がないのであろうか。質疑等なければ、次の案件の説明をお願いします。

【山本グループ長】

- ・吉川区生涯学習フェスティバルについて、報告する。11月3日、4日の2日間、吉川コミュニティプラザ及び吉川保健センターを会場に、芸能や作品の日頃の成果を発表する吉川区生涯学習フェスティバルを開催した。芸能発表は、3日にコミプラ多目的ホールで行い、6団体の皆さんが日頃の練習の成果を披露した。作品展示は、3日・4日の2日間、コミプラ大会議室と保健センターで行い、団体3、個人15のほか保育園児、小学生、中学生、高等特別支援学校生徒さんの作品を展示した。その他、3日・4日の2日間、マナビィひろばとして押し花体験や紙粘土クラフトを行った。芸能発表は前年度より1団体少なかったものの、作品展示は個人の出展者が増加し、また、学校による作品提供もあったため、賑やかなものとなり、来場者は、両日合わせて258人と、前年度187人より71人増加した。

【山岸会長】

- ・質疑等なければ、4協議事項(1)「自主的審議事項について」である。当協議会で自主的審議事項として審議してきた「吉川区における公民館を含む地域活動の促進と施設の有効活用について」の意見書作成である。各部会から代表として片桐委員、中村委員、大滝委員、そして三役と事務局で、事前に資料としてお送りしている意見書(案)を作成した。この意見書(案)について皆さんから意見をお聞きし、最終形にしていきたいと思う。まずは、事務局、説明をお願いします。

【平原班長】

- ・3部会の代表と正副会長、事務局で作った意見書(案)とともに、参考資料として各地区で行った意見交換会の主な意見や参加者数などの概要を添付するほか、「審議の経緯」も作成した。

(以下、資料6「意見書(案)」に基づき説明)

【山岸会長】

- ・竹直地区の皆さんとの意見交換会については、竹直地域づくり会議の方と相談させていただいて、開催することになれば、意見書の提出時期は多少ずれるかもしれない。意見書(案)について、意見をいただきたい。

- ・ 質疑等なければ、最終案は来月の定例会で決めることになるが、それまでに意見があれば事務局に知らせて欲しい。

【関澤委員】

- ・ 施設が廃止になっても市はそのまま放置するのではないか。更地にするよう要望はしなくてよいか。

【山岸会長】

- ・ 各地域での意見交換会でもそのような意見があった。しかし、地域づくり会議全ての意見とも限らない。行政側も今後は最低限の管理を考えており、その先、老朽化した施設から順次整理していく考えなので、敢えて急いで「更地」という結論を盛り込む必要はないと思うがいかがか。

【五十嵐委員】

- ・ 更地というのは次のステップ。適切に管理してほしい。「廃止となった場合には、動物の棲み処にならないように適正に管理してください。」と言いたい。そういう文面が見えない。

【山岸会長】

- ・ そういう意図を市に伝えることも大事であると思う。

【山本グループ長】

- ・ 今回の答申の回答と同様のことであり、記載していただいても構わないと思う。

【山岸会長】

- ・ ご意見が無ければ記載したい。

【橋爪委員】

- ・ 「行政主導による公民館活動」という表現もあったが、公民館活動を繋げていける対象の人員も少なくなって、分館活動も公民館活動に入っているという捉え方をしていただけたら良いという意見である。今後の中で考えてもらえば良いと思う。

【山岸会長】

- ・ 廃止とは建物のことであって、公民館事業が廃止ということはありません。吉川区は面積が広く集落も分散しているので旧小学校単位とした地域づくりの分館活動があった。施設はなくなるが、公民館事業は行政が主体となってニーズに応える活動を行うことが定められている。議事録に載せる。

【関澤委員】

- ・ 今までの流れとして、「話し合いで上手くやりましょう」と言いながら、条件が変わ

る信用のない流れがあるように思える。公民館活動は中止ということではない。建物を使わず放置すれば、良いことはない。廃止すれば取り壊しは原則であると思うので、市と話し合っ、信用のある回答をいただきたい。

【山岸会長】

- ・適切な管理をしていただくことは当然である。

【関澤委員】

- ・地域に解体費用を出せなどと言う話になればとんでもないことである。職員も異動で変われば、そういう話では無かったと言われる心配がある。

【山岸会長】

- ・適切な管理をすると書いてあるので、現時点では信用して願う。

【関澤委員】

- ・私が心配するのは「その当時の地域協議会委員は、なぜ市の言うとおりに、すっぽかしてしまったのだ」と言われたいようにしたい。

【山岸会長】

- ・地域づくり会議に出向いて意見交換をしているので、「すっぽかした」と言われる筋合いはないと思う。他にないか。

【薄波副会長】

- ・3分館が廃止されるが、各分館に2名ずつ配置されている運営委員の位置付けはどのようになるか。

【山本グループ長】

- ・そのまま公民館活動に貢献いただく。

【山岸会長】

- ・来月の定例会で正式に承認いただいて提出になる。竹直地区は相手方の意向を伺って付け加えるものがあれば変更となるので承知いただきたい。
- ・次に、(2)その他「地域協議会活動報告会について」、事務局、説明を願う。

【平原班長】

(「地域協議会活動報告会について」に基づき説明)

【山岸会長】

- ・地域独自予算実施団体や地域住民に対し、地域政策課に改めてこの場面で説明を要請したい。前回、頸北4区での説明は断られたので引き下がってきたが、事業を実施してきた人達に説明する義務があると思うが、賛同していただけるか。

(賛同の声あり)

- ・そのように強く要請したい。
- ・地域協議会活動報告会の日時について、質問・意見はあるか。

【橋爪委員・高野委員】

- ・3月2日を希望する。

【山岸会長】

- ・事務局からはどうか。

【平原班長】

- ・委員から報告をしていただくので委員の都合のあう日程としていただきたい。独自予算でお知らせできる情報は3月の方が多いのではないかと予想する。

【山岸会長】

- ・では3月2日としたい。時間は地域政策課が来るのであれば、もう少し長くなるのかもしれない。
- ・質疑等なければ、次の案件の説明をお願いします。

【平原班長】

- ・12月末の発行を目指し、第48号地域協議会だよりの編集を行う。前回はアンケートを掲載したが、今回は4月以降の内容を掲載し6頁としたい。発行前の確認は書面で確認していただきたい。

【山岸会長】

- ・今回の編集委員は、だれか。

【平原班長】

- ・中村委員、橋爪委員、平山委員である。この協議会后、編集会議を行うので残っていただきたい。

【山岸会長】

- ・次に、本日の視察研修について、感想、意見を順に伺いたい。

【五十嵐委員】

- ・阿賀野市の職員は住民に対する姿勢が前向きである。(子育てや移住・定住に)広報活動も積極的に取り組まれている。コミュニティバスについて事前質問でも尋ねたが、病院・学校に停留所がないのは観光目的であるためとのことである。吉川区なら、強いて言えば尾神岳を見せるだけ。吉川区は高齢者の足となるよう整理して欲しい。

【江村委員】

- ・子育て支援は、当市でも 20 年前から冊子を作り集中的に取り組んでおり、同じような感じだと思った。事務局がまとめてくれた阿賀野市と当市の取り組みの対照表は分かりやすかった。個人のお宅に出生時の祝金や紙おむつの無料など、見えやすい、分かりやすい支援も大事であるが、先日案内のあった学び合いフェスタでの東京大学名誉教授の講演で「教えから学びへ変わらなければならない。特に 0・1・2・3 歳への支援のアプローチの仕方が変わらなければいけない」という話があった。配る（支援）は見やすいけれども、見えないアプローチこそが必要で、子どもの暴力防止とか自殺予防とかいじめ防止の教育を各学校を通じて実施するとか、学校現場や親へのアプローチなどソフト面も大事であると改めて感じた。

【大滝委員】

- ・移住定住には子育て支援も大事と考える。上越市もまだ足りない部分もあると思うので、途切れない支援を高校卒業まで手厚くやっていただきたい。道の駅は、昨年出来たばかりであり、経営体制も考えられており、柿崎区産業グループも早期に我々の意図を反映して取り組んでいただきたい。

【平山委員】

- ・阿賀野市はコンパクトで当市と比較が難しいが、新潟市のベッドタウンとも言える地勢で、新潟市に職場を求めることができ、移住者を受け入れやすくなっている。合併も 4 町村でまとまっている。子育て支援に関しては、当市はホームページを見ても（阿賀野市に比べ）PRが少ないように感じる。もっと広くPRしたらよいのではないかと思った。

【橋爪委員】

- ・子育て支援に「支援」と「無償」があるが、住みやすい子育て日本一のまちを目指すのであれば無償にする位が必要と強く思った。また、「移住体験の受け入れがない」ということに驚いている。生活の糧をどこに求めるか。安田地区が唯一山手で吉川に近いと思ったが、後は平地が多い市であると思った。
- ・A I バス導入は、高齢者の交通手段を優先したバス経路を別に確保する中で、観光客を乗せるためのバスということであったが、市が業者に委託しても困っているのは運転手の不足である。A I バスの導入は良いこともあるが障害もあると感じた。

【高野委員】

- ・前向きなことを考えておられて参考になった。上越市の頸北地区位の大きさであり、

施策も参考になるものが多かったと思う。

【関澤委員】

- ・阿賀野市は小規模で計画を立てやすいのではないかと思う。各PRチラシが上手くできていると思った。先進的な子育て施策や移住・定住施策には現在計画段階のものもあり、5年後、10年後に視察できるのであれば、実践の成果を見ることが楽しみなものもあった。子育てセンターは、吉川区には包括支援センターがあるが、高齢者向きで、子育てに関するセンターがあるのは、将来的に準備してきたのだなと思った。自分の住んでいる所を愛し、利点を胸を張って話せる環境づくりをするのが一番ではないかという担当課長の言葉に感銘を受けた。

【薄波副会長】

- ・オンデマンドバスは土日のみの運行で、観光に特化しているが、通常の公共交通には運用していないということであった。行政が管轄する公共交通は、土日運行を行わない形がどこでも行われているのかと気になった。吉川区も日曜は路線バスは運行していないが、阿賀野市はこれらを補完するような形でオンデマンドの乗合観光バスを運行したのかと思っている。吉川区の場合は令和9年度を目標に見直しが行われるが、足を確保する新たな考えを導入できればよいと思っている。もう一つ、子育て支援で市予算230億の12%を使っているとのことであり、人口も上越市に比べ4分の1位で上越市の予算は1,000億位あり、12%はかなり大きい割合だと思う。

【山岸会長】

- ・阿賀野市は、令和6年度からも無償化を予定している支援策があるとのことで、非常に前向きであると感じた。市が、若い人達がそこにとどまり、生活の基盤とすることが理想なので、上越市も頑張ってくださいよう市長に進言したいところ。
- ・次に5総合事務所からの諸連絡をお願いします。

【平原班長】

(11月25日の頸北4区地域協議会委員合同研修会の案内、吉川区地域福祉活動計画実施委員会の「吉川区地域福祉活動計画アクションプラン」に関するアンケートの回答説明、上越市の新年祝賀会と吉川区の新年を祝う会の案内を説明)

【山岸会長】

- ・次に、6その他に入る。
- ・次回の日程は、12月21日(木)18時30分からとする。
- ・委員から何かあるか。

【五十嵐委員】

- ・今更であるが、道の駅活性化につなげるために、今は大乘寺に光をあてているが、連携するのであれば、距離的に近い長峰城ではないかと思う。なぜ大乘寺にしたのか。大乘寺は上杉謙信とつながりがあるので市からの支援もあるのだろうか。

【山岸会長】

- ・地域独自予算事業と関連・連携するハード事業に位置付け、まずは情報発信のためのモニターと看板設置から動いたが、当初から段階的な整備、緑地の整備を念頭においている。長峰城は単独で地域独自予算事業を提案している。大乘寺の事業と連携すれば、吉川区の町田や転輪寺、雲門寺など他の名勝への流れも出るのではないかと考えた。三和区や頸城区で提案があった事業のように市が実施主体になる形を望んでいたが、そのような事業提案をすることができなかった。地域協議会が提案し実施主体を地域の団体とする大乘寺の事業を道の駅の活性化と結びつけ、吉川区や春日山への人の流れを作ることができればと考えた。

【五十嵐委員】

- ・私は道の駅の活性化を考えた時に、まずは近くの施設などと結びつけるのが得策と思っていたが、理解した。大乘寺が悪いということではなく、タグを組んで活性化を進めていくということで理解した。

【山岸会長】

- ・吉川区の活性化の一つのきっかけになって欲しいという思いである。長峰城は地域活動支援事業で活動を継続し、今後も地域独自予算事業として補助率が7割になっても継続されるかは分からない。長峰城も吉川区全体に人の流れを作り出すようなポテンシャルがあるとは思いますが、私としては、道の駅からまず大乘寺や町田、転輪寺、雲門寺に行ってもらうラインが良いのではないかと考えている。上杉謙信公の関係で上杉神社宮司から吉川に来ていただければとも思っており、新たな交流、人の流れも期待できると思っている。ご理解いただいてお力浴えいただければと思っている。
- ・他になければ、閉会のあいさつを薄波副会長にお願いする。

【薄波副会長】

- ・以上で第7回地域協議会を閉会する。

1 0 問合せ先

吉川区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL:025-548-2311 (内線 213) E-mail:yoshikawa-ku@city.joetsu.lg.jp

1 1 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。